

共同利用施設 案内

室名: 生理活性物質分析室

主任: 林 知也

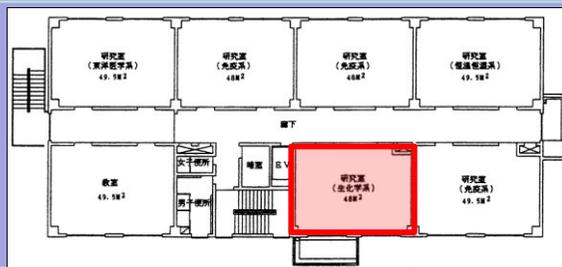
生理学ユニット:
(内線370)

場所:

5号館2階

内線: 264

施設利用手引き



概要: 蛋白質を中心とした生理活性物質を, クロマトグラフィー, 分光法, ELISA法等の生化学的な分離・分析等を用いて解析することができる。

共同利用機器備品リスト:

1. 高速液体クロマトグラフィー (Waters, 1525等)
2. 紫外・可視分光光度計 (島津製作所, UV-1850等)
3. マイクロプレートリーダー (Bio-Rad, 550等)
4. オートミニウォッシャー (バイオテック, AMW-8)
5. pHメーター (堀場, F-12)
6. 超純水製造システム (Millipore, Milli-Q Gradient等)
7. 分析用天秤 (Sartorius, CP225D)
8. 乾熱滅菌器 (東京理化工機, NDS-700)
9. 微量高速冷却遠心機 (トミー精工, MX-100)
10. 高速冷却遠心機 (Hitachi, Himac SCR20B)
11. 冷却遠心機 (島津製作所, CPR-005)
12. バイオメディカルフリーザ (三洋電機, MDF-U333)
13. 超低温フリーザ (三洋電機, MDF-C8V)
14. オートクレープ (東邦, ACE-30V)
15. ドラフトチャンバー

機器用途【なにができる?】

1. 溶液中の物質を分離し, 紫外・可視領域での同時分析や蛍光分析ができる。
2. タンパク質やDNAなどの定量や菌数の測定などができる。
3. マイクロプレートの吸光度測定にて, ELISA法による物質の定量などが行える。
4. マイクロプレート洗浄が自動で行える。
5. 溶液のpH測定ができる。
6. 超純水の製造ができる。
7. 220 g~0.01 mgの秤量ができる
8. 乾熱滅菌が行える。
9. 2.2 mLチューブの遠心が17,610×g まで可能。
10. 50 mLチューブの遠心が38,900×g まで可能。
11. 15 mLチューブの遠心が6,000×g まで可能。
12. -20~-30°Cでの冷凍保存ができる。
13. -80°Cでの冷凍保存ができる。
14. 横型でマイクロチップなどを滅菌することができる。
15. 有害な気体の調整時等に使用する。



生理活性物質分析室の利用について

1. この部屋ではクロマトグラフィー法, 分光法, ELISA法等によって蛋白質を中心とした生理活性物質の解析を行えます。
2. 利用者は, 事前に使用目的, 使用装置・機器, 使用頻度等を主任にお知らせください。
3. 機器のほとんどは使用説明が必要となりますので, 初めて使用される前に取り扱い説明を必ず受けてください。機器によっては取り扱いのトレーニングを受けてもらう必要があります。
4. 利用者が使う消耗品は基本的に個々で用意してください。キムワイプ, ペーパータオルなど, 利用者のほとんどが使われる消耗品については, 実験室の経費でまかないますが, 節約を心がけてください。
5. 整理整頓を心がけてください。
6. 機器の故障や, 異常を感じた場合は必ず主任にお知らせください。